



『校長 EBI 日誌 ⑧ 』



文化祭が終わり、前期期末試験を控えた日常の学校生活に戻りました。

例年になく長い雨空が続いていますが、朝夕の空気や風のそこそこに秋の気配が……。校長室を閉めて外に出ると、草むらからも木の上からも沸き返るように響いてくる虫の音に、全身が包み込まれる思いです。秋の虫が集まって賑やかに鳴きたてる様子を「虫集く（むしすだく）」「虫時雨」と言ったりしますが、言い得て妙。まさにこのことよ……。と、夕闇の中 一人で詠嘆している私です。



秋晴れが恋しいですね。生徒、職員ともに体調に気を付けながら、実りの秋を進んで行きましょう。



学校は、社会に開かれた教育課程の実現を目指し、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を設定し、保護者や地域の方々とともにより良い教育の実現を目指します。本校も大学関係の方、地域の方々、教育委員会の方を含めた7名の方に委員になっていただき、貴重なご意見をいただく機会を持っています。

今日は私自身が委員として、地域の小学校のコミュニティ・スクールに呼んでいただく日でした。海老名高校の西門を出て川沿いにてくてく歩いていくと、海老名市立中新田小学校があります。会議に伺い委員の皆さんとの話し合いの後、小学生の様子を見学させていただきました。お絵描きをしている子どもたちの教室にお邪魔したり、体育館で運動会のダンスの練習をしている1年生の姿を見学したりし、すっかり小学生たちのファンになった私です。

私たちは、地域の方々に支えられています。社会で生きる存在として、高校生に期待される振る舞いがあることでしょう。小さな子どもたちに、高齢の方々に、地域住民の皆様や働く方々に、愛され大切にされる海老高生を目指していきましょう。私も目指します。

【令和8年9月16日】